

会議等の意見対応

■第2回策定委員会（12/15）

No	資料	主な意見・指摘事項	対応・方針
1	資料 1 P1, 2	「都市づくりの基本的課題」と「都市づくりの目標」で表現が同じようなものがある。市民がわかりやすい表現をしてもらいたい。 (朝田委員)	「都市づくりの基本的課題」(P19)では、「不足・必要」などの表現を使い、課題となる表現に修正しました。「都市づくりの目標」(P22-24)では、分かりにくい表現を修正しました。
2	資料 1 P1, 2	「目標を支える共通認識」は、もう少し目立つ位置に移動できないか。 (嶋田委員長)	計画書 P21、P24 で記載しました。
3	資料 1 P1, 2	市のなかで何を優先して取り組むかは決まっているのか。 (佐々木委員)	市民アンケート結果より、満足度を4段階、重要度を5段階で評価し課題の強弱を表現しました。(P19)
4	資料 1 P1	課題⑥「狭あい道路への対応」に対する目標を具体的に書いた方が良いのではないか。 (嶋田委員長、大林委員)	目標1つ目と3つ目で「狭あい道路の解消」に修正しました。(P22, 23)
5	資料 1 P1	目標①のなかの「都市基盤(道路網・駅前広場など)を整備」とあるが、新たな整備だけでなく、既存の道路ネットワークの活用の視点も必要だと考える。 (神谷委員)	目標1つ目「住みやすく、住み続けられる都市づくり」のなかで、「活用」の表現を追加しました。新たな整備と既存の都市基盤の活用により最適なルートや定時性を確保し、公共交通の利便性を高めるという考え方としました。(P22)
6	資料 1 P1	目標⑨の「「東海市ゼロカーボンシティ宣言」を掲げていることから」が理由ではなく、行政だけでなく企業・市民と一緒に取り組む横断的な内容の方が良いのではないか。 (谷口委員)	目標2つ目「豊かな自然を身近に感じられる都市づくり」のなかで、「カーボンニュートラルの実現」という表現に修正しました。(P22)
7	資料 1 P1	目標⑩だけ「緑陽公園」と固有名詞が出てくる、具体の場所等は都市整備の方針で記載した方が良いのではないか。 (神谷委員)	「公園の整備」とし、固有名詞を使わない表現に修正しました。(P22)
8	資料 1 P2	目標⑪⑫⑬は文末がどれも「安心・安全な都市を目指します。」である。もっと具体的な表現をしても良いのではないか。 (神谷委員)	目標3つ目「災害に強い安心・安全な都市づくり」のなかで、それぞれがより具体的となるように文末の表現を修正しました。(P23)
9	資料 1 P2	目標⑰・⑱は「既存産業」に限らなくてもよいのではないか。また、「渋滞対策」は課題ではあるが、目標①にあった「道路網の充実」等も加えてはどうかと思う。 (神谷委員)	目標5つ目「持続的な経済の発展を支える都市づくり」のなかで、既存産業に限定しない表現に修正しました。また、道路網の充実も追記しました。(P24)

10	資料 1 P2	目標⑩について、「広域交通体系」と「新産業」がどうつながるのかよくわからない。なぜ課題として「新産業」が出てくるのかの説明が必要だと思う。 (朝田委員)	既存産業の強化も期待するところであるため、新産業に限定しないように表現を修正しました。(P24)
11	資料 1 P2	目標⑫に「地域資源を活用」とあるが、地域資源とは何を指すのか。わかりやすく記載したほうが良いのではないかと。 (神谷委員)	歴史・文化資源という表現に修正しました。(P24)
12	資料 2 P1	都市構造の評価の「要検討」は、事業進捗からの判断(評価)と思われる。もう少し検討の必要性を整理してもらいたい。 (朝田委員)	将来都市構造は、見やすさや今後の事業の実施を踏まえ、表現する拠点等を大きく見直しました。(P29-34)
13	資料 2 P4	都市拠点や広域交流拠点には特徴のある施設があるためそれらをうまく表現できると良いのではないかと。 (神谷委員)	将来都市構造は、見やすさや今後の事業の実施を踏まえ、表現する拠点等を大きく見直しました。(P29-34)
14	資料 2 P4	名半バイパスが開通したことを踏まえ、沿道に拠点を設けてはどうか。また、新駅周辺の区画整理による新たな拠点を検討してはどうか。 (濱田委員)	将来都市構造は、見やすさや今後の事業の実施を踏まえ、表現する拠点等を大きく見直しました。生活圏という考え方を入れ、それぞれに拠点を形成していく考え方を示しました。(P31)
15	資料 3 全体	新市街地の面積や目標人口等のフレームの設定は、総合計画と整合がとれるよう、繰り返し検討を行う必要があると思われる。 (朝田委員)	現時点の都市計画としての事業を踏まえ、算出しています。今後も総合計画と整合を図りながら精査していきます。(P26, 27)
16	資料 3 P2	立地適正化計画を作成している市として、市街化区域の中でも居住誘導区域の内外で人口密度を変えるなど、詳細な検討が必要と思われる。 (朝田委員)	現時点の都市計画としての事業を踏まえ、算出しています。今後も総合計画と整合を図りながら精査していきます。(P26, 27)
17	その他	「ワンコインタクシー」は、菰野町など各地でいくつか事例があるようである。自治体が補助しているのではないかと。参考にしてはどうか。 (大林委員、嶋田委員長)	タクシーについては、公共交通として、交通施設等の整備方針で項目を出して記載することにしました。(P41)

※資料番号、資料ページは第2回策定委員会の資料に対応